

---

# 平成19事業年度 事業計画の概要

---

2007年 3月30日

あなたに、ベスト・ウェイ。



# 目 次



1. H19事業計画のポイント	.....	1
2. 高速道路建設事業の事業計画	.....	3
3. 高速道路管理事業の事業計画	.....	6
4. サービスエリア・パーキングエリア事業の事業計画	.....	13
5. 新規事業の事業計画	.....	16
6. 道路受託事業の事業計画	.....	18
《参考資料》	.....	19

# 1. H19事業計画のポイント(1)

NEXCO

## 計画概要

事業費は総額4,891億円、そのうち高速道路事業では4,261億円、高速道路事業以外の事業では630億円を見込んでいます。

資金計画については、合計11,328億円の資金を営業収入、財政投融资(政府保証債)、民間金融機関からの借入金により調達する予定です。

収支予算については、高速道路事業では料金収入7,222億円、道路資産賃借料5,330億円、経常利益0円を見込んでおり、高速道路事業以外の事業では経常利益15億円を見込んでいます。その結果、当期純利益として9億円を見込んでいます。

高速道路建設事業では10道路484kmの建設及び17道路51kmの改築を実施し、高速道路管理事業では34道路3,390kmの管理を行います。

# 1. H19事業計画のポイント(2)

NEXCO

## H19事業計画のトピックス

道東道(トマムIC～十勝清水IC)、館山道(君津IC～富津中央IC)、北関東道(宇都宮上三川IC～真岡IC、笠間IC～友部IC)、圏央道(八王子JCT～あきる野IC、鶴ヶ島JCT～川島IC)の6区間が新たに開通します。

磐越道(阿武隈高原SA～船引三春IC)を4車線化します。

三陸道(鳴瀬奥松島IC～石巻河南IC)を無料開放します。

圏央道(八王子JCT～鶴ヶ島JCT)で、八王子JCT開通時からETC時間帯割引を導入します。

お客さまが快適・便利・安心してご利用頂けるよう、トイレをリフレッシュします。

より快適にETCをご利用いただくために、カード未挿入をお知らせするアンテナの整備や収受係員の車線横断用安全通路の設置をはじめとする料金所の総合安全対策を進めていきます。

高速道路から降りることなく、安心、快適、低価格で泊まれるロードサイドホテルを新たに展開します。

## 2. 高速道路建設事業の事業計画(1)

NEXCO

地域の発展と暮らしの向上に貢献する、環境に配慮した信頼性の高い高速道路ネットワークを効率的に建設します。

2,247億円の事業費により、北海道縦貫自動車道など計10道484kmの新設、東北横断自動車道など17道計51kmの4車線化等の改築事業を実施します。

新規開通は4路線6区間54.8km、4車線化完成は1路線1区間6.3kmを予定しています。

また、環境に配慮した高速道路の整備及び、建設事業マネジメントの確立、新たな調達方式などによりコスト削減と品質の向上を目指します。

## 2. 高速道路建設事業の事業計画(2)



### < 新規開通区間 >

路線名	道路名	区 間	延長 (km)	備 考
高速自動車国道				
北海道横断自動車道 黒松内釧路線	道東自動車道	トマムIC ~ 十勝清水IC	20.9	
東関東自動車道 千葉富津線	館山自動車道	君津IC ~ 富津中央IC	9.2	
北関東自動車道	北関東自動車道	宇都宮上三川IC ~ 真岡IC	7.5	
		笠間IC ~ 友部IC	9.1	
一般有料道路				
一般国道468号 (首都圏中央連絡自動車道)	圏央道	八王子JCT ~ あきる野IC	0.4	
		鶴ヶ島JCT ~ 川島IC	7.7	

印の施設名称は仮称です。

### < 拡幅等完成予定区間(箇所) >

路線名	道路名	区 間	延長 (km)	備 考
高速自動車国道の4車線化				
東北横断自動車道 いわき新潟線	磐越自動車道	阿武隈高原SA ~ 船引三春IC	6.3	
インターチェンジ等の改築				
北海道縦貫自動車道 函館名寄線	道央自動車道	虻田洞爺湖IC	-	移設
日本海沿岸東北自動車道	日本海東北自動車道	岩城IC	-	
東関東自動車道 千葉富津線	館山自動車道	木更津羽鳥野BS	-	
一般国道16号(京葉道路)	京葉道路	蘇我IC	-	フル化

## 2. 高速道路建設事業の事業計画(3)

NEXCO

【道東自動車道 トマムIC～十勝清水IC】



【北関東自動車道 笠間IC～友部IC】



### 3. 高速道路管理事業の事業計画(1)

積雪寒冷地を広範囲にかかえるなか、冬期においても安心してご利用いただける道路を目指すなど、安全で円滑な道路交通を確保するとともに、ETCを活用した弾力的な料金設定など多様なサービスを提供し、効率的で使いやすく地域に貢献できる道路管理を目指します。

#### 1. 安全で円滑な道路交通を確保します。

**毎日安心してご利用いただけるよう、道路のきめ細かな日常管理を行います。**

お客さまに安心してご利用いただけるよう、路面や橋梁、トンネル、施設設備などの維持・点検に努めます。

路上工事による車線規制を減らし、交通の円滑化及び渋滞の減少を目指します。

**お客さまに満足いただける道路管理を行います。**

地域性や路線特性を考慮した顧客満足度(CS)調査を実施・分析し、維持管理事業との関連性を効果検証し、CS向上に努めます。



### 3. 高速道路管理事業の事業計画(2)

NEXCO

道路の走行環境の向上を図るため、交通安全対策や舗装の高機能化を推進します。

雨天時の走行環境を向上させるため高機能舗装化を進めます。

〔高機能舗装率：56% 59%〕

中央分離帯の防護柵を強化型に整備し、重大事故を防止します。

〔強化型防護柵整備率：85% 87%〕

暫定2車線区間の車線逸脱防止対策等の整備により、効果的な安全対策を推進します。  
大型の動物が高速道路に侵入するのを防止します。



〈高機能舗装〉



〈強化型防護柵〉



〈大型動物侵入防止対策〉

道路の定時性を確保するため、渋滞対策の推進や道路情報提供の充実を図ります。

関越道花園IC付近他の渋滞箇所について、付加車線設置等の事業を推進します。

また、渋滞時速度回復情報や渋滞予測情報の提供を実施するなど渋滞緩和に努めます。

情報提供機器をより有効に活用し、リアルタイムで詳細な情報提供の更なる充実に努めます。

通行止発生時には、開通を待たれているお客さまに対して、様々な手段により、通行止解除に向けた作業状況などの情報を提供していくよう努めます。

# 3. 高速道路管理事業の事業計画(3)

## 雪に強い道路を目指すため、雪氷作業や雪氷対策設備の充実を図ります。

冬期間の気象変化に対しても極力交通を確保するよう、地域・気象特性に即した雪氷作業を行います。降雪時の走行性向上のため、防雪柵の設置など、視程障害防止対策を進めます。除雪車Uターン路などの雪氷対策設備を設置し、雪氷作業性の向上を図ります。気象観測に基づく路面温度等の予測精度を向上させ、適時適切な雪氷作業を行います。効率的かつ的確な雪氷対策作業を実施するため IT技術等を活用した新技術開発を推進します。



《道路特性に応じた雪氷作業》



《防雪柵》



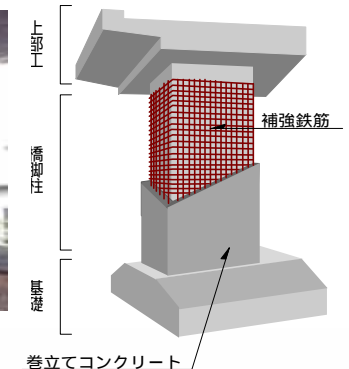
《路面情報測定車》

## 災害に強い道路ネットワークを構築するため、橋梁の耐震補強などの防災対策を推進します。

阪神・淡路大震災クラスの大地震にも耐えられるよう、対策が必要な橋梁の補強を行っていきます。  
〔橋脚耐震補強完了率：78% 84%〕  
降雨防災の強化を図ります。



《橋脚の耐震補強》



### 3. 高速道路管理事業の事業計画(4)

NEXCO

#### 2. ETCを活用した弾力的な料金設定など、多様なサービスを提供します。

ETCを活用した料金企画割引などの料金サービスの展開、ETC諸設備の整備などサービス向上に努めます。

ETCを活用し、期間や地域を限定した料金割引を実施するなど、お客さまサービスの向上に努めます。  
〔圏央道(八王子JCT～鶴ヶ島JCT)に、時間帯割引を導入〕  
〔地域を限定した企画割引や開通キャンペーン等を実施〕

ETCの多様なサービスをわかりやすくお知らせするとともに、以下の普及策などに取り組みます。  
〔ETC車載器ご購入支援〕(二輪車ETC マイレージ2,000ポイントプレゼントなど)  
〔ETC車載器リース制度の継続支援〕

ETC利用率の向上等に即したETCレーンの増設を行います。

ETCカード未挿入をお知らせするアンテナの設置を推進し、ETCレーンに停止する車両の減少を進めます。  
〔ETC停止処理率：0.21% 0.18%〕

以上の各種施策によりETC利用率の向上を目指します。  
〔ETC利用率：63% 69%〕

# 3. 高速道路管理事業の事業計画(5)



## 人・環境にやさしい道路空間を構築します。

お客さまが快適・便利・安心してご利用いただけるよう、トイレをリフレッシュします。

遮音壁の設置等、沿道の生活環境保全に必要な環境対策を適切に実施します。

植物発生材の堆肥化など緑のリサイクル及び建設発生土、コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊などの建設副産物のリサイクルを推進し、循環型社会の形成に貢献します。



《洗面所リフレッシュ》



《床の段差解消》

《 トイレリフレッシュの状況 》



《遮音壁の設置》

## 3. 高速道路管理事業の事業計画(6)

NEXCO

### 3. トータルコストを削減し、効率的な道路管理に取り組みます。

適切な管理水準の検討・実施、ライフサイクルコストの最小化を図るマネジメント手法の定着、新技術の開発など、効率的な道路管理を行います。

総合保全マネジメントを本格化し、資産の長期健全性とライフサイクルコストの最小化、維持修繕による望ましい「管理水準」の追求、PDCAサイクルの実務定着に取り組みます。  
新技術の開発、新工法の実施、新しい設計方法、規格の見直し、新しい発注方法等によりコスト削減を目指します。

### 4. 道路管理におけるリスクマネジメントを適切に実施します。

緊急時も迅速・適切に対応できるよう、危機管理を強化します。

大規模災害時にも道路の早期復旧に努め、高速道路が緊急輸送道路として迅速かつ円滑に機能するよう努めます。  
国や地方自治体との連携を強化し、またマニュアルの整備や適切な防災訓練を実施するなど、危機管理体制を強化します。  
救命救急病院へのアクセスの強化や、ドクターヘリの運用への協力を実施し、救援活動の迅速化を支援していきます。



〈緊急出入口〉



〈ドクターヘリ〉

# 3. 高速道路管理事業の事業計画(7)



## 不正通行対策を徹底します。

不正通行対策本部を設置し、会社をあげて「不正通行は許さない」という姿勢で対策に取り組めます。

法令違反車両の取締りを徹底します。

## 料金所安全対策を重点的に実施します。

料金所の総合安全対策として、平成20年度末までに全料金所の約2/3に収受係員が利用する車線横断用の安全通路を整備するとともに、安全性向上のための各種設備の設置を進めていきます。



《法令違反車両取締業務の状況》



《収受係員安全通路》

## 4. サービスエリア・パーキングエリア事業の事業計画(1)

### 「<sup>いしずえ</sup>礎づくり」・「<sup>はな</sup>華づくり」の具体化

#### コンビニ・専門店等の着実な展開

収益向上に向け、すべてのエリアでのサービスレベルの向上を目指す「礎づくり」と、立地の特性に応じて個性的なサービスを展開する「華づくり」という2つの面を同時に追求し、具体化を図ります。

「礎づくり」の具体化として、お客さまの便利をサポートするため「コンビニエンス・ストア」を着実に展開します。(8箇所)

「華づくり」の具体化として、お客さまのニーズの高い「専門店」(ex.「シアトル系カフェ」)を本格展開します。(4箇所)

「華づくり」の具体化として、阿賀野川SAに郷土料理や和食を中心とした「食事処」と地域色豊かな「お土産品店」を導入します。



【コンビニエンス・ストア導入事例：関越自動車道 山谷PA(下)】



【専門店導入事例：東北自動車道 蓮田SA(上)】

## 4. サービスエリア・パーキングエリア事業の事業計画(2)

### 商業施設への新たな展開

首都圏や拠点となる主要なSAPAにおける地域のお客さまのご利用もふまえた商業施設の整備を計画的に推進します。

平成20年春の開業を目指し、京葉道路幕張パーキングエリアなど3箇所では新規商業施設の建設工事を実施します。

既存商業施設の、リフレッシュ工事、建物・設備の改修等を実施します。



【京葉道路 新・幕張PA(下)外観イメージ】



【京葉道路 新・幕張PA(下)内観イメージ】



## 4. サービスエリア・パーキングエリア事業の事業計画(3)

### さらなる安心・安全・快適さの追求

フェイスtoフェイスのきめ細やかな対応を行う「エリアコンシェルジェ」を平成18年度に引続き導入します。  
(平成19年度:23箇所)

お客さまサポート機能の充実を図るため「ベビーコーナー」を拡張・充実させます。

レストラン内設置のお客さま用トイレに「パウダースペース」および「洗浄タイプの洋式便器」を、今年度からの2年間で全箇所に設置します。

AEDの管理、救急用品の配備等を行います。

### 地域との連携を活かしたサービスの 拡大と開かれたエリアづくり

地域の特産物・工芸品等を販売する地域特産品市場を展開します。

エリア周辺のお客さまに外から利用していただけるようにするため、商業施設の周辺地域側の整備を実施します。



【エリア・コンシェルジェ導入事例:常磐自動車道 守谷SA(下)】



【地域特産品販売事例:常磐自動車道 守谷SA(上)】

## 5.新規事業の事業計画(1)

### eNEXCO ドライブプラザ のさらなる充実

類似サイトとの差別化を図り、「eNEXCO ドライブプラザ」を高速道路のドライブ旅行支援サイトとして定着させます

ショッピングサイトにおいて、地域特産物を積極的に導入するとともに、スポーツ・レジャー等のコンテンツを充実させ、お客さまに不可欠な情報を提供します。

携帯版「eNEXCO ドライブプラザ」のサービスを開始します。

### 【eNEXCO ドライブプラザ】



### E-NEXCO pass のさらなる普及

高速道路利用のキャッシュレス化、高速料金のポイント割引など「E-NEXCO pass」の魅力を感じていただくため、PR活動を強化します。

「E-NEXCO pass」会員へのサービスを充実させます。

### 【E-NEXCO pass】



### 旅行事業に向けた新たな展開

当社の資源(WEBSITE「eNEXCO ドライブプラザ」、SA・PA施設等)を活用したドライブ旅行を提案します。



# 5.新規事業の事業計画(2)

## 経営資源を活用した事業の推進

- 高速道路から降りることなく、安心、快適、低価格で泊まれる「ロードサイドホテル」を新たに展開します。
- 日比谷駐車場事業において、「近隣の映画館、劇場などと連携した新たなサービス」の展開や「自動二輪駐車場の新設(当面10台程度からスタート)」など、お客さまサービスの拡大を推進します。
- トラックターミナル事業(郡山・仙台南)、占用施設活用事業(第三京浜道路高架下など)を着実に推進します。
- 会社が所有・管理する施設において、「ロケーションサービス」を開始します。

【駐車場事業】



【トラックターミナル事業】



【高架下事業】



## 6. 道路受託事業の事業計画

NEXCO

長年培ってきた技術とノウハウを活かし、国、地方公共団体等の事業推進に貢献していきます。

新直轄方式で整備することとなった高速道路について、技術とノウハウを活かし、事業推進に協力するとともに、信頼性の高い高速道路ネットワークの構築に貢献します。

経済性、効率性、施工性等の観点から、高速道路建設事業と同時に実施することが有効であると認められる国、地方公共団体等の事業についても、事業受託することで高速道路の整備と一体となって推進します。

# 参 考 资 料



# 平成19年度 開通予定区間

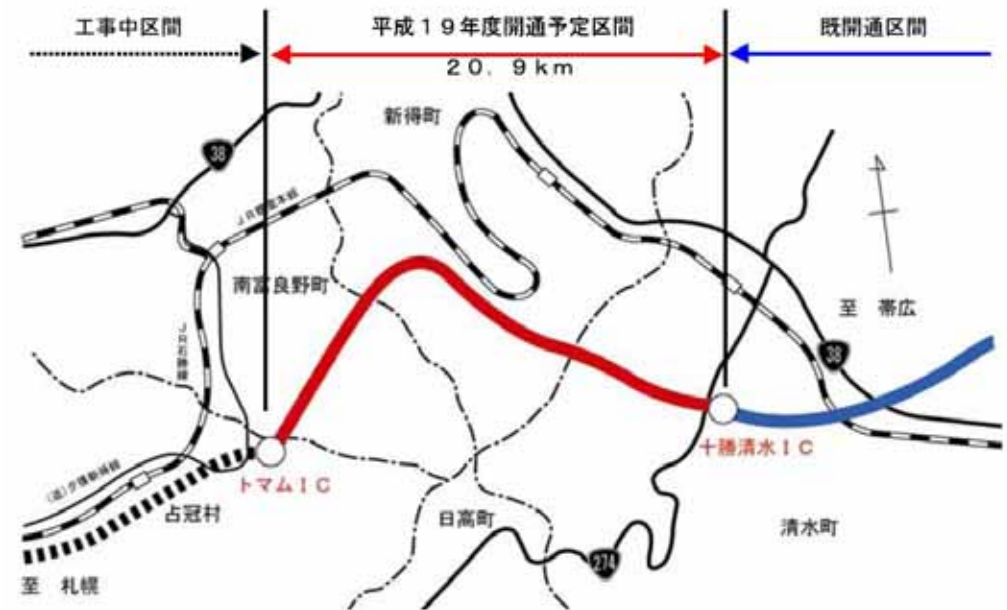
## [道東自動車道 トナムIC ~ 十勝清水IC]

NEXCO

開通区間	道東自動車道 トナムIC ~ <sup>とかちしみず</sup> 十勝清水IC
延長	20.9 km
幅員及び車線数	3.5 m × 2車線
設計速度	100 km / h
インターチェンジ等	1箇所 トナムIC <sup>ゆうふつくんしむかっぶむら</sup> 北海道勇払郡占冠村 (道道トナムインター線に連結)

### 路線概要

トナムIC ~ 十勝清水IC間は、道東自動車道の開通済区間の十勝清水ICから日高山脈を横断し札幌方面に延伸する20.9 kmの区間で、道東圏へのアクセスが向上するとともに、道内最大の難所である一般国道274号の日勝峠(にししょうとうげ)や一般国道38号の狩勝峠(かりかちとうげ)の代替路として機能することにより、災害に強い道路ネットワークが構築されます。また、一般国道274号の日勝峠(標高1,022 m)と比較して最高標高が約400 m低くなることとともに、道路線形も改善されるため、交通障害が発生するリスクが大幅に改善されます。



印の施設名称は仮称です。

# 平成19年度 開通予定区間

## [ 館山自動車道 君津IC ~ 富津中央IC ]

NEXCO

開通区間	館山自動車道 <small>きみつ</small> 君津IC ~ <small>ふつつちゅうおう</small> 富津中央IC
延長	9.2 km
幅員及び車線数	3.5 m × 2車線
設計速度	100 km / h
インターチェンジ等	—

### 路線概要

君津IC ~ 富津中央IC間が開通することで、すでに開通している起点から君津IC間の約39 km及び富津中央ICから富津竹岡IC間約7 kmとあわせて全線開通することになります。

館山自動車道の全線開通で、富津館山道路富浦インターチェンジまでの高規格幹線道路のネットワークが完成することにより、南房総地域への首都圏からの所要時間がさらに短縮されることや周辺地域の交通混雑及び渋滞の軽減により、地域の利便性の向上や活性化が期待されます。





# 平成19年度 開通予定区間

## [北関東自動車道 宇都宮上三川IC ~ 真岡IC]



開通区間 北関東自動車道 うつのみやかみのかわ 宇都宮上三川IC ~ もおか 真岡IC

延長 7.5 km

幅員及び車線数 3.5 m × 4車線

設計速度 100 km / h

インターチェンジ等 1箇所  
真岡IC 栃木県真岡市  
(一般国道408号に連結)

### 路線概要

宇都宮上三川IC ~ 真岡IC間は、北関東自動車道の東へ延伸する7.5 kmの区間で、茨城方面へのアクセスが向上されます。また、真岡インターチェンジ周辺には大規模な真岡工業団地があり、経済の強化及び地域の活性化が期待されます。



印の施設名称は仮称です。

# 平成19年度 開通予定区間

## [北関東自動車道 笠間IC ~ 友部IC]

NEXCO

開通区間 北関東自動車道 笠間IC ~ 友部IC

延長 9.1km

幅員及び車線数 3.5m × 4車線

設計速度 100km/h

インターチェンジ等 1箇所  
笠間IC 茨城県笠間市  
(県道土浦笠間線に連結)

### 路線概要

笠間ICから友部ICの開通により、茨城県県西地域と県央地域を結ぶ、唯一の主要路線である国道50号の渋滞緩和に資することが期待されます。



印の施設名称は仮称です。

# 平成19年度 開通予定区間

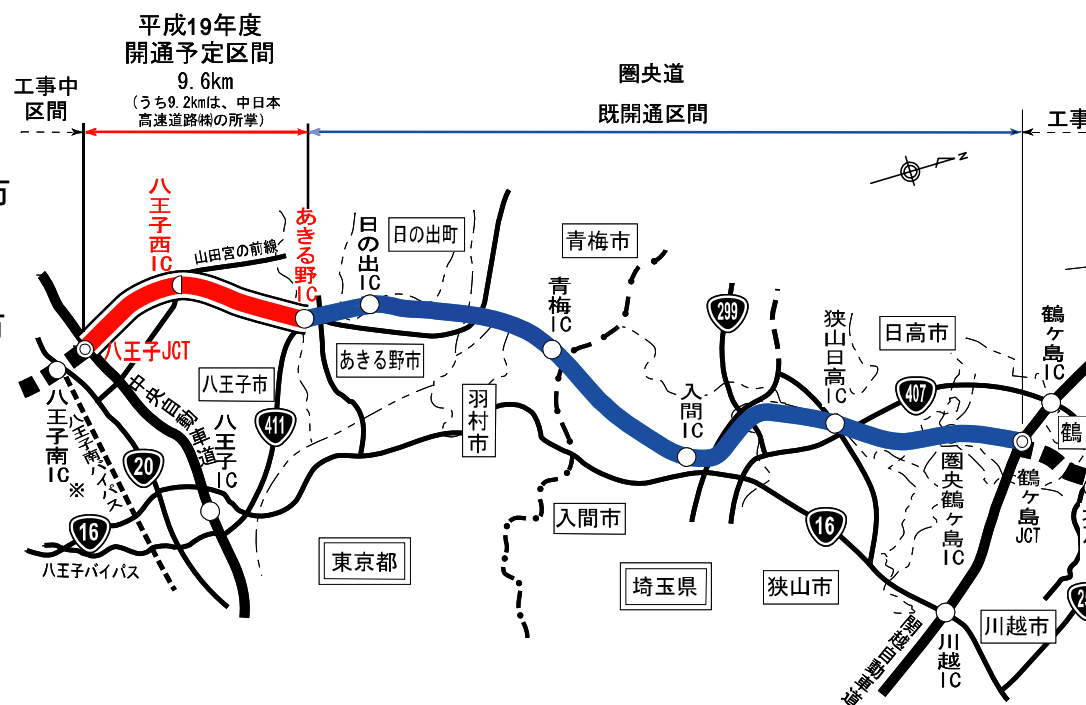
## [ 圏央道 八王子JCT ~ あきる野IC ]

NEXCO

開通区間	圏央道 <sup>はちおうじ</sup> 八王子JCT ~ あきる野IC
延長	9.6km (うち、9.2kmは、中日本高速道路(株)の所掌)
幅員及び車線数	3.5m × 4車線
設計速度	80km/h
インターチェンジ等	2箇所 八王子JCT 東京都八王子市 (中央自動車道に連結)  <sup>はちおうじにし</sup> 八王子西IC 東京都八王子市 (都道山田宮の前線に連結)

### 路線概要

八王子JCT ~ あきる野IC間の開通により、中央自動車道と関越自動車道が連結されることから、都心方面へ流入する交通の分散及び通過交通の迂回といった機能が発揮され、並行する国道16号のみならず首都圏の渋滞、混雑の緩和が期待されます。



印の施設名称は仮称です。

# 平成19年度 開通予定区間

[ 圏央道 鶴ヶ島JCT ~ 川島IC ]

NEXCO

開通区間 圏央道 つるがしま 鶴ヶ島JCT ~ かわしま 川島IC

延長 7.7km

幅員及び車線数 3.5m × 4車線

設計速度 80km/h

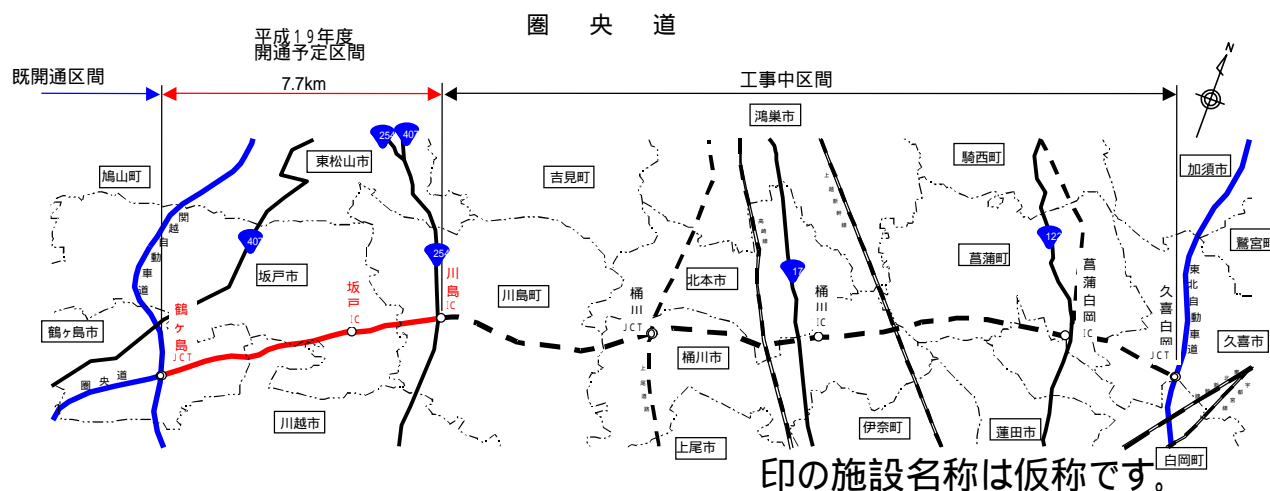
インターチェンジ等 2箇所

坂戸IC 埼玉県坂戸市  
(都市計画道路坂戸東川越線に連結)

川島IC 埼玉県比企郡川島町  
(一般国道254号に連結)

## 路線概要

関越自動車道と東北自動車道を結ぶ区間での初めての開通であり、既開通区間とともに埼玉県内の東西の交通軸が強化されます。また地域の自立・発展の為、圏央道の開通を生かした産業集積の推進の一環として平成18年10月に公表された「田園都市産業ゾーン基本方針」などを促進させるとともに、首都圏や全国との交流・連携を効果的に進める路線として大きな期待が寄せられています。



# 平成19年度 開通予定区間

[ 磐越自動車道(拡幅)(阿武隈高原SA ~ 船引三春IC) ]

NEXCO

開通区間 磐越自動車道(拡幅)(阿武隈高原SA ~ 船引三春IC)

延長 6.3 km

幅員及び車線数 2車線を4車線に拡幅

設計速度 80 km / h

インターチェンジ等 -

## 路線概要

阿武隈高原SAから船引三春IC間は、標高500mを越える阿武隈高地にあり、太平洋側と内陸部の中間にあって特に冬期の気象激変区間でもあり、降雪量が多く雪氷作業に苦慮していましたが、4車線化完成後は、冬期の交通確保がより容易となります。また、混雑期(夏休み、行楽シーズン等)の交通集中による渋滞解消が図られ、より円滑で快適な交通運用が確保できます。



# 平成19年度 無料開放予定路線

[一般国道45号(三陸縦貫自動車道(鳴瀬奥松島IC~石巻河南IC))(矢本石巻道路)]

無料開放区間 一般国道45号(三陸縦貫自動車道(鳴瀬奥松島IC~石巻河南IC))(矢本石巻道路)

延長 12.4km

車線数 2車線

設計速度 80km/h

インターチェンジ等 4箇所(鳴瀬奥松島IC、矢本IC、石巻港IC、石巻河南IC)

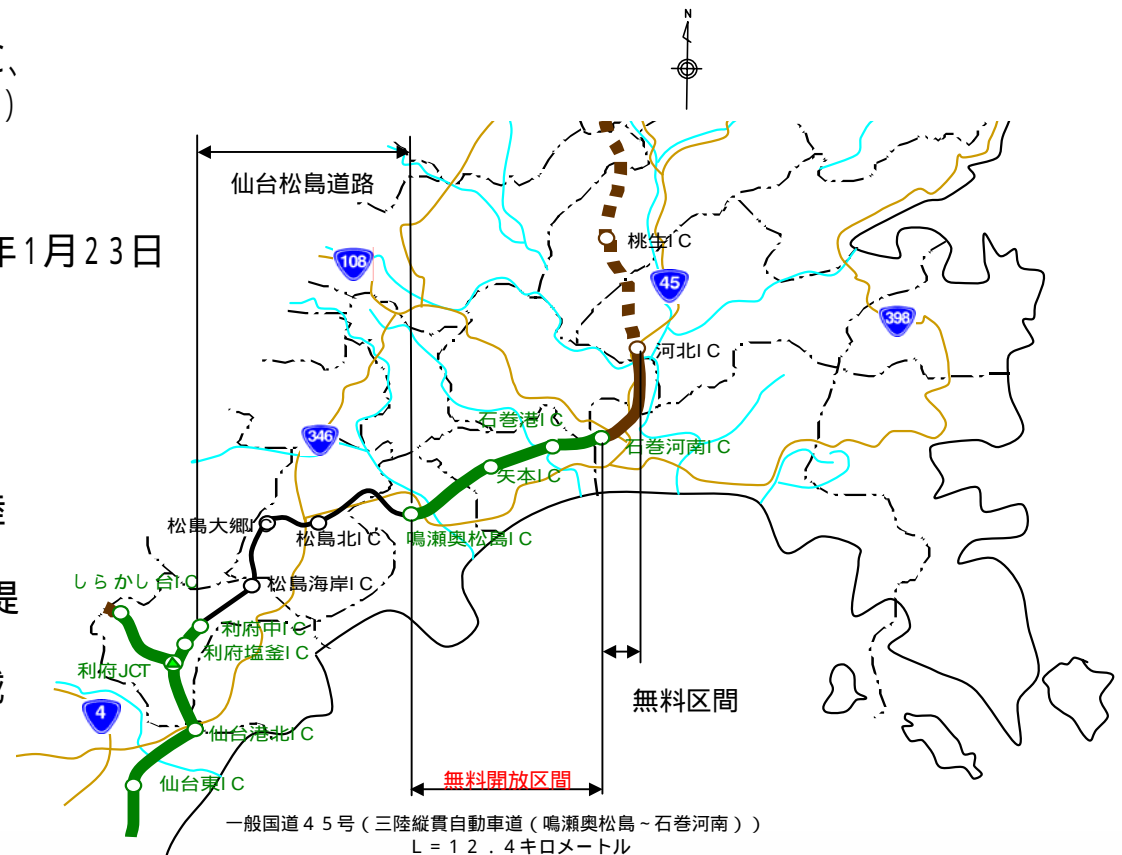
料金 全線 450円(普通車)

道路資産の貸付期間 平成18年4月1日~平成20年1月23日  
及び料金徴収期間

道路の引継先 国土交通省

## 路線概要

三陸縦貫自動車道(鳴瀬奥松島~石巻河南)は、三陸沿岸地方の高規格幹線道路網を形成し、仙台市周辺から石巻市の都市間交通に対する高度な交通サービスの提供及び一般国道45号の交通混雑を緩和することにより、現道機能の確保及び沿道環境の改善を図り、もって地域の発展に寄与することを目的とした道路である。



# NEXCO東日本『トイレリフレッシュ計画』(1)

～「快適なトイレ空間」を目指して

NEXCO

平成22年度までに全ての休憩施設のトイレ(294箇所)、レストラン内のトイレ(50箇所)を改善します。

## 1. 整備内容

清潔で気持ちよく快適にご利用いただくために

～ 肌に温もりと清潔さを提供するトイレに変身します ～

洋式便器に暖房・洗浄便座を整備します。

〔現在:約 3%      平成19年度末:約90%      平成21年度末:100%〕

温水対応の自動水栓を整備します。

〔現在:約40%      平成19年度末:約90%      平成21年度末:100%〕

和式便座の洋式化を進めていきます。

〔現在:全便器数の約3割      平成22年度末時点:全便器数の約6割〕

～ 暖かさと安らぎを提供するトイレに変身します ～

混雑している女性用トイレの便器数を増やしていきます。

〔混雑しているトイレについて、平成22年度までに17箇所で便器を増設します〕

清潔感・暖かさの感じられる内外装を採用していきます。

# NEXCO東日本『トイレリフレッシュ計画』(2)

～「快適なトイレ空間」を目指して

NEXCO

**お子様からお年寄りまで、多くの方がより使いやすくするために**

～「便利だね」小さな子供の笑顔が広がるトイレを提供します～

背の小さい男の子も利用可能な子供用小便器を設置していきます。

ベビーシートや小型手洗い器などを備えた大型ブースを設置していきます。

**さまざまなバリアを取り除き、安心してご利用していただくために**

～ほっとするような心地よいトイレを提供します～

トイレ内の床の段差を解消していきます。

多目的トイレ(身障者トイレ)内にはベットと幼児便座を整備します。

新規に建設を進めている休憩施設では、営業開始当初から～に対応した整備を進めていきます。

## 2. メンテナンスの強化

### 床の滑り防止対策

床が濡れた状態で滑りやすいトイレは、防滑材などによる滑り防止対策を行います。

### 清掃の強化

専門業者による清掃、配管洗浄を行い、トイレ内の更なる美化に努めます。



# NEXCO東日本『トイレリフレッシュ計画』(3)

～「快適なトイレ空間」を目指して

NEXCO

## 3. 乾式清掃の試行

さらに快適にご利用していただくため、乾式清掃に対応した床仕上げを試行導入します。  
〔京葉道路 幕張PA, 圏央道 狭山PA〕

## 4. レストラン内のトイレの充実

レストラン内のお客さま用トイレについては、より充実した内容での整備を進め、平成20年度までに全ての箇所(50箇所)で以下の改善を図ります。

内装のリフレッシュ

〔明るく、ゆったりとした空間づくり〕

機能の充実

〔温水対応の自動水栓式洗面器、暖房・洗浄便座付洋式便器、パウダースペース〕

# 《道路管理に関するアウトカム指標、数値目標》

より効果的、効率的に事業を執行するための、渋滞の緩和・解消といった事業の実施により、発生する効果や成果(アウトカム)を表す指標や事業量の数値目標は、以下のとおりです。

アウトカム指標数値目標	定 義	H18年度(見込値)	H19年度(目標値)
本線渋滞損失時間	本線渋滞 <sup>1</sup> が発生することによる利用者の損失時間 <sup>2</sup>	4,138千台時間/年 <sup>3</sup>	4,450千台時間/年
路上工事による車線規制時間	道路1Kmあたりの路上作業に伴う年間の交通規制時間	60時間/(Km・年)	66時間/(Km・年) <sup>4</sup>
ETC利用率	ETC導入済み料金所におけるETC利用者の割合	63% <sup>5</sup>	69%
死傷事故率	走行車両1億台キロあたりの死傷事故件数 <sup>6</sup>	11.2件/億台キロ <sup>7</sup>	11.0件/億台キロ (下回るように努力)
舗装保全率	舗装路面の健全度 <sup>8</sup> を表す車線の延長比率	86%	89%
橋脚補強完了率	古い基準を適用した橋梁で、耐震補強を必要とする橋脚のうち、補強が完了している橋脚基数の割合	78%	84% <sup>9</sup>
利用時間確保率	道路が利用可能な時間 <sup>10</sup> の比率	99.7% <sup>11</sup>	99.5% (上回るように努力)
顧客満足度	CS調査等で把握する維持管理に関するお客さまの満足度(5段階評価)	3.5	3.5 (上回るように努力)
高機能舗装率	高機能舗装整備延長の割合	56%	59%
強化型防護柵整備率	古い基準を適用した防護柵で、強化型防護柵を必要とする防護柵延長のうち、強化型に整備している防護柵延長の割合	85%	87%
ETC停止処理率	カード挿し忘れ等のトラブルにより、ETC車が専用レーンで停止し、ノンストップ走行できない割合	0.21%	0.18%

- 1 高速道路では、時速40km以下で低速走行あるいは停止・発進を繰り返す車列が1km以上かつ15分以上継続した状態をいいます。
- 2 損失時間は、渋滞通過のために生じた遅れ時間を、法定速度と渋滞時の平均走行速度(25Km/h)の差で算定した時間と影響台数で積算した年間総損失時間をいいます。渋滞損失時間は、1～12月までの暦年の損失時間を示しています。
- 3 平成18年の本線渋滞損失時間は、渋滞対策事業による減少の他に、事故渋滞や雪に起因した渋滞が例年より減少したため、目標値より大きく減少しました。
- 4 平成19年度の路上工事による車線規制時間については、安全性・快適性向上のための舗装工事が平成18年度に比べ増加すると共に、予定していなかった災害復旧工事等を実施することから、車線規制時間が増加します。
- 5 年度末月の平均利用率(台数の割合)を示しています。収入に占めるETC利用の割合はH19.1平均で69.3%(概略試算値・高速道路のみ)となります。
- 6 会社が管理する道路のうち一部の道路は除かれています。また、2つの会社にわたる道路については走行台キロ比で事故件数を按分しています。死傷事故率は、1～12月までの暦年の事故率を示しています。
- 7 平成17年(1月～12月)の実績値を示しています。
- 8 舗装の健全度とは、概ね5年以内には舗装補修を必要としない状態をいいます。
- 9 補強対象橋脚の工事契約率は100%です。
- 10 降雨、降雪に因る通行止め(災害、地震等を除く)と、事故や工事による通行止を除く、通行可能な時間をいいます。利用時間確保率は、1～12月までの暦年の確保率を示しています。
- 11 平成18年の利用時間確保率は、雪に起因した通行止が例年より減少したため、目標値より大きく向上しました。